

クレヨンカンパニーの

いろいろげきじょう2026



がらくたにんぎょうげき「おおきな かぶ」

ミスターシャドウの かげあそび



クレヨンカンパニー
<https://904company.net/>



一人でも色々「いろいろげきじょう」

「いろいろげきじょう」とは「一人だからこそいろいろ面白い」をテーマに、たった一人での上演ながら色々な工夫を凝らした出張人形劇公演のことです。素材に廃品を用いた「がらくた人形劇」や「影絵劇」、また昔話からオリジナルの演目まで、毎年プログラムを入れ替え子供たちに観てもらっています。

クレヨンカンパニーの「いろいろげきじょう2026」

1部 がらくた人形劇「おおきなかぶ」

身近な廃品を利用した人形劇「がらくた人形劇」シリーズです。同一規格でありながら丈夫で様々な色模様が特徴の牛乳パックをはじめ、麺やアイスクリームのカップなど素材を彩色せず、なるべく原型を残して製作した人形に命が吹き込まれます。おなじみの「大きなかぶ」のお話は繰り返しの面白さとリズムカルな掛け声で幼い子どもたちも楽しめるでしょう。「メガネおじさん」が一人でセリフを言い人形を操作します。その独特の工夫や仕掛けの解説（種明かし）もその場で行うので今後の子供たちの創作意欲も一層増すことと思います。

2部 ミスターシャドウの かげあそび

「メガネおじさん」が今度は影の国から現れた「ミスターシャドウ」に変身し、不思議で楽しい光と影の世界をお届けします。手の形で作った影「手影絵」のキツネやイヌが影絵人形となって音楽に合わせて動いたり、ハサミで切り抜いた「切り紙」やその場で描いた「絵」も影絵人形に変えてしまいます。「こぎつねコンコン…」「イヌのおまわりさん…」と、知ってる歌は一緒に歌えるでしょう。生成AIを利用すれば影絵劇まがいの映像は容易に作れますが、だからこそ人や手をその場で影に表して臨場感ある生の影絵劇にしました。



観劇後の「おまけ」

時間とスペースがあれば、終演後に人形や舞台裏を子どもたちに公開いたします。身近で見る「ガラクタ人形」や「影絵」の仕組みや仕掛けを見ていただけます。特にスクリーン裏から見る影絵の再現は興味深いでしょう。「メガネおじさん」への質問や、登場した人形たちとの記念撮影也大歓迎です。ご希望の場合は、開演前の打ち合わせ時で構いません。

また、工作指導も行っており、上演と組み合わせると効果的です。「工作会・研修会」の内容・資料はお問い合わせください。

- * 上演時間は2部構成で約55分間。演目はそのまま、ある程度時間調整して短縮も可能です。
- * 荷物の搬入後に約1時間 30分、後片付け撤収には約1時間必要です。
- * 舞台の設置スペースは横巾5m、奥行き2.5m、高さ 2.3m です。舞台前から2m 以上あけて客席を作ってください。「影絵劇」では暗幕や厚手のカーテンで会場内を暗くします。
- * 普通は段差のあるステージは使わず平場に設置します。出入口の付近また会場の遮光等を考慮して 舞台の設置位置を決めることもあります。

〒069-1208 北海道夕張郡由仁町山形 433-4
TEL/FAX 0123-83-2826

クレヨンカンパニー

<https://904company.net/>



めがねおじさん 降幡行雄(ふりはたゆきお) 東京で生まれ育つ。1980年代から人形劇に携わり人形劇団ピッコロを経て、プロの人形劇団「クレヨンカンパニー」を設立する。全国各地で公演するほか講習会講師や幼年誌に工作や影絵作品を提供する。2003年北海道に移住する。趣味は野鳥など自然観察で自然観察指導員でもある。著書に「北の森のユニックル」(国土社)。

